

第2期石垣市地域創生総合戦略 施策進捗評価シート

【1】取組内容			
基本目標	1. 新たな産業や稼ぐ産業をつくるとともに、「安心して働ける」まち	実施年度	令和5年度
		検証時期	令和6年11月
取組目的	本市のリーディング産業である観光産業の振興など稼ぐ産業や地域資源を活かした新たな産業を創出し、新たな雇用・安定した雇用・魅力ある雇用を生み出し、「安心して働けるまち」の実現を図る。		
主要施策	(1) 地域の強み・特色を活かした産業の振興 (2) 更なる農林水産業の振興 (3) 多彩な人材の受入・育成、若者への投資 (4) 新しい観光コンテンツの創出		
事業内容	(1) 関連…「観光基盤受入強化事業」 (2) 関連…「経営発展支援事業、漁業再生支援事業、石垣市優良母牛更新事業、特定地域経営支援対策事業」 (3) 関連…「専門人材育成事業、離島保育士確保総合対策事業、保育士確保対策事業、石垣市公営塾運営業務、石垣市雇用対策協定運営協議会」 (4) 関連…「土地利用調査・検討業務」		

【2】重要業績評価指標(KPI)		※評価基準 A:実績値が目標値に対して80%以上 B:実績値が目標値に対して40%以上80%未満 C:実績値が目標値に対して40%未満				
指標(KPI)		基準値(令和元年度)	目標値(令和6年度)	実績値(令和5年度)	評価	
基本目標	有効求人倍率	1.68倍	1.61倍	1.60倍	A 99.37%	
主要施策	(1)	入域観光客消費推計額	977.0億円	977.0億円	978.3億円	A 100.13%
	(2)	新規就農者数	3者	5者(毎年度)	0者	C 0%
		漁業者所得 (一人当たり年間平均所得額)	2,608千円	2,608千円	2,591千円(R4)	A 99.34
		素牛の販売額(取引額)	4,625百万円	5,106百万円	3,244百万円	B 63.53%
		農業産出額	11,350百万円(H30)	11,463.5百万円(R5)	8,390百万円(R4)	B 73.18%
	(3)	受講生・支援を受ける者の数	216人	232人(毎年度)	96人	B 41.37%
		障がい者の雇用数	361人	400人	451人	A 112.8%
	(4)	チャンピオンシップ対応ゴルフ場の誘致	0件	1件	0件	C 0%

【3】今後の課題と方針

基本目標1の指標である「有効求人倍率1.61」に対し、令和5年度は1.60となり、順調に推移している。今後も産業振興による雇用創出や人材育成により、より安定した雇用環境の整備を図り、目標値以上の数値を目指す。

- (1) 令和5年度の入域観光客消費推計額は978億円となり、目標値を上回った。今後も国際線就航やクルーズ船の増加に伴って、増加していくことが見込まれる。オーバーツーリズムや二次交通問題等の課題は関係機関と連携し解決に向けて取り組む。
- (2) 素牛販売額、農業算出額については、小売市場における牛肉の販売売上の低迷や飼料代高騰等の要因により、目標値に届いていない。今後は、支援事業により各産業の更なる底上げを図り、また課題解決のため沖縄県農業協同組合等の関係機関と連携いく。
- (3) 受講者数については、人材育成のための各事業の周知を強化し、受講者数の増加を目指す。障がい者雇用者数については、ハローワークとの連携により雇用促進を図った結果、目標値を達成した。
- (4) ゴルフ場誘致については、農地転用や開発行為の申請手続きを沖縄県に通達しており、関係機関と連携し、引き続き早期着工へ向けて取り組む。

第2期石垣市地域創生総合戦略 施策進捗評価シート

【1】取組内容			
基本目標	2. 豊かな自然や文化を守り、「ここで暮らしたいと実感できる」まち	実施年度	令和5年度
		検証時期	令和6年11月
取組目的	本市の地域資源を保全、活用、掘り起しながら、豊かな自然、文化に包まれた本市の魅力を市内外に発信することで、本市と継続的に多様な形で関わる関係人口の創出・拡大、本市への移住・定住の拡大に取り組み、「ここで暮らしたいと実感できるまち」の実現を図る。		
主要施策	(1) 自然環境の保全と適切な利活用 (2) 文化・芸能の振興 (3) 移住・定住の促進 (4) 関係人口・交流人口の拡大		
事業内容	(1) 関連…「下水道事業接続補助事業、3R推進計画、最終処分場維持管理事業」 (2) 関連…「市史編集事業、観光基盤受入強化事業、石垣島まつり」 (3) 関連…「南ぬ島移住・定住支援プロジェクト」 (4) 関連…「観光基盤受入強化事業、修学旅行誘致、スポーツ！ウェルカム！石垣島！事業」		

【2】重要業績評価指標(KPI)		※評価基準 A:実績値が目標値に対して80%以上 B:実績値が目標値に対して40%以上80%未満 C:実績値が目標値に対して40%未満			
指標(KPI)		基準値(令和元年度)	目標値(令和6年度)	実績値(令和5年度)	評価
基本目標	人口の社会増減	+51人(H29～R1平均)	±0人以上(毎年度)	-27人	B -
主要施策	(1)	公共下水道接続率	57.4%(R2.3)	61.8%(R7.3)	63.80%(R6.3) 103.23%
		ごみ資源化率	13.1%	13.1%	15.90% 121.37%
	(2)	市史に関する書籍の発刊数	83冊(R2.3)	86冊(R6.3)	85冊(R6.3) 98.8%
		とぅばらーま大会、芸能のタベ等、芸能イベント開催数	23回	20回(毎年度)	20回 100%
	(3)	Iターン者数	2,453人	2,384人(毎年)	3,666人 153.78%
		Uターン者数	465人	473人(毎年)	553人 116.91%
		市町村魅力度ランキング(全国)	14位	10位以内	14位 -
	(4)	入域観光客数	1,471千人	1,471千人	1,181千人 80.08%
		インバウンド数	240千人	240千人	84千人 35%
		修学旅行学校数	104校	120校(R4)	148校 123.33%
		プロ・実業団スポーツキャンプの誘致	22件	30件	22件 73.33%

【3】今後の課題と方針

基本目標2の指標である「人口の社会増減ゼロ以上の維持」は、令和5年度はプラス86人となり、目標値到達となった。今後も移住・定住の支援と、雇用創出や高等教育機関整備による転出抑制の取り組みを強化し、目標値の維持を図っていく。

- (1) 下水道接続率は目標値を達成し、今後も供用開始区域のうち、中心市街地を重点的に周知活動を展開していく。ごみ資源化率も、目標値達成となり、今後も観光客と人口の増加により、ごみ量も増えることが予測されるが、同数値の維持を図っていく。
- (2) コロナ禍後、各イベント等が通常開催出来る様になった。引き続き、より多くの人々に八重山芸能の魅力や情報を島内外に広く発信し、伝統芸能の継承、普及促進に努める。
- (3) IターンUターン者数は、目標値達成となった。今後は移住・定住支援策さらなるの拡大や、北部などの過疎地域への移住者増加に向けた取り組みを進めていく。
- (4) 令和5年度の入域観光客数は約118万人となり、コロナ禍から順調に回復しているが、目標値の達成のためには、インバウンド数のさらなる増加を図る必要があるため、引き続き、観光客の受入強化、利便性向上に向けた施策を展開していく。

第2期石垣市地域創生総合戦略 施策進捗評価シート

【1】取組内容			
基本目標	3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、「安心して子育てができる」まち	実施年度	令和5年度
		検証時期	令和6年11月
取組目的	市民の希望出生率の実現を叶え、また、本市の人口を安定させていくために、結婚、出産、子育ての各段階に応じ、切れ目のない支援を総合的に行い、「安心して子育てができるまち」の実現を図る。		
主要施策	(1)結婚・出産の支援の充実 (2)子育てセーフティーネットの充実 (3)子育てと仕事両立できる環境整備		
事業内容	(1)関連…「石垣市結婚新生活支援事業」 (2)関連…「ファミリーサポートセンター事業」 (3)関連…「保育所整備事業」		

【2】重要業績評価指標(KPI)		※評価基準 A:実績値が目標値に対して80%以上 B:実績値が目標値に対して40%以上80%未満 C:実績値が目標値に対して40%未満			
指標(KPI)		基準値(令和元年度)	目標値(令和6年度)	実績値(令和5年度)	評価
基本目標	合計特殊出生率	1.92(H30)	2.47(R5)	1.81(R4)	B 73.27%
主要施策	(1) 結婚組数	452組(H29～R1平均)	452組以上(毎年)	318組	B 70.19%
	(2) ファミリーサポートセンターの受入率	100%	100%(毎年)	100%	A 100%
	(3) 待機児童数	55人	0人(R3)	0人	A 100%

【3】今後の課題と方針

基本目標3の指標である「合計特殊出生率2.47」に対し、令和4年は、1.81となり目標値よりも下回った。目標値が市民の希望出生率であるため高めの設定となっているが、少しでも目標値に近づけるため、今後も結婚・出産・子育ての各ライフステージに応じたきめ細かな支援を行っていく。

- (1)結婚組数は、令和3年度が364組、令和4年度が359組、令和5年度が318組となり、近年は減少が顕著である。要因としては、結婚適齢期人口の減少や若者の価値観の多様化が考えられる。今後も、婚活イベントの実施等で若者の出会いの場を創出を図ると同時に、新婚夫婦を経済的に支援する事業の更なる周知を行い、結婚への後押しをしていく。
- (2)のファミリーサポートセンターの受入率、待機児童数については、目標値を達成しております。今後は、児童館の整備や子どもの居場所づくりに取り組み、引き続き同様の安心して子育てができる環境の充実に努めていく。

第2期石垣市地域創生総合戦略 施策進捗評価シート

【1】取組内容			
基本目標	4. 新しい時代の流れを取り入れた「持続可能な」まち	実施年度	令和5年度
		検証時期	令和6年11月
取組目的	SDGsの理念に沿った持続可能なまちづくりの推進や地域におけるSociety5.0の推進に向けた情報通信基盤等の環境整備・未来技術の活用など、新しい時代の流れを取り入れた「持続可能なまち」の実現を図る。		
主要施策	(1)SDGsの推進 (2)デジタル化とSociety 5.0の推進 (3)感染症・災害等に強い社会基盤強化 (4)企業版ふるさと納税の活用		
事業内容	(1)関連…「石垣SDGsモデル推進事業」 (2)関連…「個人番号カード交付事業、AI活用事業」 (3)関連…「観光防災力強化支援事業、防災ラジオ普及促進事業、災害対策事業、石垣市公式ラインの普及」 (4)関連…「石垣市企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)」		

【2】重要業績評価指標(KPI)		※(評価基準) A:実績値が目標値に対して80%以上 B:実績値が目標値に対して40%以上80%未満 C:実績値が目標値に対して40%未満			
指標(KPI)		基準値(令和元年度)	目標値(令和6年度)	実績値(令和5年度)	評価
基本目標	SDGs認証取得事業者の割合	0.0%	5.0%	0%	C 0%
主要施策	(1) SDGs認証取得事業者の割合	0.0%	5.0%	0%	C 0%
	(2) マイナンバーカード交付率	16.2%	66.2%	71.56%	A 108%
		AI活用事業・業務件数	0件	5件	B 60%
	(3) 観光客用防災備蓄品数	12千人×1日分	12千人×3日分	0	C 0%
		災害時緊急告知防災ラジオ貸与数	850台	3,000台	C 1.06%
		自主防災組織防災訓練参加率	37.80%	61.90%	B 61.90%
		石垣市公式ラインの友達登録数	23,778人(R3.2)	28,545人(R7.3)	A 143.4%
	(4) 寄付金額	0円	14億円	676,072千円(累計)	B 48.29%
		活用事業件数	累計0件	累計10件	A 90%
				累計9件	

【3】今後の課題と方針	
基本目標4の指標である「SDGs認証取得事業者の割合5.0%」に対し、令和5年度は0%となった。 (1)SDGs認証取得事業者の割合が0%となっている理由については、認証制度について実際の運用までは至っていない。今後は、いしがきSDGs推進プラットフォーム会員数を増やし、会員とともに認証制度のあり方について意見交換を進め、具体的な手順や内容を整理し、運用を進める。 (2)マイナンバー交付率については、時間外窓口や商業施設での窓口開設の取り組みにより、順調に推移し目標値の達成となった。AIの活用についてはLINEのチャットボットと総合窓口受付システムにより窓口・電話対応件数の軽減に繋がった。今後も、広報活動により更に利用者を増加させ、対応するメニューを拡充し、サービスの向上を図る。 (3)防災備蓄については、事業が終了しているため、実績が0となっているが、今後は民間備蓄の拡大、非常時の食料や物資の提供等、民間との災害時の協力体制を強化する。防災ラジオについては、340台を新規購入し、令和5年度より市民への有償配布を開始した。防災訓練への参加は、地域により防災意識の高さに違いがみられる傾向があることから、防災士養成講座等を開催し各地区のリーダーとして地区防災強化を図っていく。 (4)企業版ふるさと納税については、総合戦略の基本目標実現のための、事業の具体化を進め、事業の実施に向け取り組みを進めていく。また石垣市から企業側に積極的にアプローチし、寄付額増に向けた取り組みも進める。	